

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・世間では景気が悪いと言っていたので心配していたが、学販の方も思ったより販売量が減少しなくて大変助かっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・朝、昼、晩のピークの時間帯での来客数が過去最高を何度も塗り替えている。売上は前年比で118%、来客数は117%増加している。
	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の動きが少し良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上、来客数共に前年比10%ほど増加し、少しずつだが上向き傾向にある。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・今まで長く消費が落ち込んでいる。今後は高速道路料金の引下げ等で多少お金を使う機会が増え、効果が出るのではないかと期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・同業者ではホテルで飲食部門、バンケット部門を取り止めてしまうという情報が流れている。また、事実取り止めになったというような経過があり、逆に客が多くなってきている。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	販売量の動き	・先月から先々が底だった感じで、下げ止まりの感触がみられる。当然ながら今までと全く同じものが動いているわけではないが、確実に数字は戻している。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・在庫量が前年比10%増加したが、古い車両の在庫が目立つ。しかも、安値の受注が多く、タイヤや一部の部品は事前に取り替えてあり、点検整備のみの顧客が増えている。また、次回まで部品がもてば交換しないので、在庫量ほど売上は良くなっていない。
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・ランドセルの売上数は前年より極端に減少し、大型店の安価な商品へ消費が移っている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・一時の厳しさに比べれば、低い伸びだが悪いなりに安定している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・低値仕入の施策を実施し始めたところ、来客数が120%増加した。また、買上点数が予想以上に伸びている。しかし、世の中は価格の安い方向に向かっている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・必要な商品は購入しているが買上点数が大幅に減少している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新卒者の車購入の需要が多くなる時期だが、例年に比べ非常に少ない。
		乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・今年に入って、全く高級車は売れていない。販売量が少ないうえに、安価な車しか売れない。売上は減少し、販売台数も伸び悩んでいる。
		住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・12月以降買上点数は減少傾向である。価格訴求品は必要以上の購買にはつながらず、来客数を維持しても売上が減少傾向である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・悪くなっていく状況から下げ止まってきたものの、最悪な状況に変わりはなく、上がる気配は無い。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・近隣企業の業績は、一部の業種を除き悪化のままである。企業の利用は減少しているが、官庁関係、一般客の利用は微増している。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・来客数が3月に入っても伸びない。春休み前の旅行シーズンを迎えるに当たっても、客の動きは鈍化している。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・多くの企業が年度末ということもあり、決算や締めで忙しく、それほど経済状況が悪くない客も他の客への顔向けで、様子見の多い月である。特に4月以降についても話ができないような雰囲気があり、個人についても春休みに入って少し動きが出ているが、前半から中盤に掛けてはほとんど動きがない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・春闘の結果は芳しくはなかったが、予想して諦めていたところでもあり、労働者にショックや悔しさは感じられない。結果、依然として財布を締め堅い生活になっている。また、定額給付金はとても新たな消費に結び付くとは考えられない。

	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・2、3月に掛けて例年であれば、新生活、新入居の時期で動きがあるが、今年はその傾向が弱い。量販店にしても前年比での売上が伸びておらず、少なからず影響を受けている。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数が前年と同じである。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・購入単価が減少している。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・年明けから、仕事に関わる来客は無いに等しい。昨年末から関わっている仕事が延長しており、仕事はあるものの、個人住宅の計画はほとんど無い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・年明け以降、毎月の受注量はほぼ横ばいで推移して、特に大きな変動は見られない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・定額給付金の申請が始まったが、商店街へ客が来るか不安である。今のところ人通りは先月より減っている。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・客は商品の相場が低下しても必要量だけしか買わない。
	百貨店（総務担当）	単価の動き	・食料品、衣料品共に超目玉商品はばかり多く売れ、衣料品は値下げをしても売れない。
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・客の買上単価が減少している。余計な物は買わない。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は食品の売上が減少し、アパレル並みに雑貨、身の回りの品の売上也減少している。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・ディスカウント傾向が鮮明になっている。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・生鮮食品等の鮮度劣化の早い商品は、必要な量しか買わない。来客数はほぼ横ばいのため、鮮度の良い商品をその都度購入している。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・来客数に変化はないが、客の買上単価は減少傾向である。野菜等の小分け商品や総菜、水産等の使い切りパックの伸びが顕著で、消費者の慎重な買物姿勢がうかがえる。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月の自動車業界は繁忙期で販売台数が伸びるが、消費の買い控えが続いている。エコカーや高額車両が低迷し、一段と厳しい。
	高級レストラン（店長）	競争相手の様子	・2月から同業者の注文がかなり減少しており、3月は特にひどい。
	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・卒園、卒業シーズンなので、それなりに来客数はあるが、販売量の減少が目立ち、単価も安い。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・寒冷期から温暖期に入ってきたため、人の動きが活発になってきている。善光寺御開帳が迫っていて、行事が多く何かと人が動いている。
	都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・ホテル業の競争がますます激しくなり、極端な安売りをするホテルがある。客の一部が料金の安いホテルに移るといった傾向がある。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・来客数の減少もあるが、旅行相談が縮小傾向にある。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・単価は依然低調なまま推移している。来客数に関しても上向き加減が一時見られたが、月末近くなり、下降気味になっている。大体3～4%は下向きになるのではないかと。
	ゴルフ場（業務担当）	単価の動き	・天候も安定しており、客の出足は好調であるが、なかなか売上は伸びない。
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・年度末コンペも非常に減少している。	
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・収入が減少したり、リストラされた客が多くなり、受注につながらない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・顧客の反応として、買い控えが始まっており、消費が低迷している。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・昨年の3月も悪かったが、今年はその下回る。年度変わりで新入学等の買物があっても良いが、ほとんど無い。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・気に入ったものがあっても自分自身の物は買うが、他人にあげる分までは考えていない。買上点数が減少している。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・新入学の商品の動きを期待していたが、消費者の財布のひもは固く、価格の安い量販店、ホームセンターなどで間に合わせている。

一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・昔の良い時期に比べたら半分くらいの売上である。良い方向に向くことはない。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・引き続き、宝飾等高額商品は厳しい。また、進学、フレッシューズといったオケージョン商材の最需期であるが、手持ち品で間に合わせる傾向が顕著であり、その他衣料品全般についても、買い控えが目立っている。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・これまで以上に無駄のない消費傾向になっており、買上点数が減少している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・プレミアム付き商品券が発行されたが、農機具、車等の高額なものに使われているようで、我々小売の拡大になっていない。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・いつも売れる学生用衣料が全く売れない。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・毎年この時期に寒さが戻り品物が動かないが、今年は来客数が1割程度減少している。また、定額給付金の給付前のため買い控えをしている。
家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数は販促施策等で増加しているが、客単価が減少している。付加価値の高い商品も、消費者自身が必要と感ぜない機能や効能については触手を伸ばさない傾向が強くなってきている。購入予算にはシビアである。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・車の販売はとにかく悪い。3か月前の約6割しか売れない。前年の販売量は到底売れない。当社始まって以来の販売量の減少である。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・買上点数が減少している。また連動して1品単価が下落している。
住関連専門店（開発業務責任者）	販売量の動き	・来客数は前年を維持しているが、買上点数が減少している。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価がなかなか良くならない、高くないということでは消費を控えている。食事の回数も減っている。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・売上は前年比12～13%減少であり、主に家族客の減少が大きな原因である。
スナック（経営者）	お客様の様子	・努力だけでは前のようにはいかない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・毎年3月は歓送迎会の貸切パーティが少なくとも5件は入っていたが、今年は1件しか入っていない。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・出張者がいなく、街の活気がなくなり貸店舗の張り紙だけが増えていく。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・歓送迎会といったものは会費制でやる傾向が多いため、あまり景気は関係ないが、宿泊に関しては大手企業が動いていない。
タクシー運転手	販売量の動き	・2、3月と連続して売上が前年比80%台まで減少している。
タクシー運転手	お客様の様子	・送別会等で利用客が増える時期だが、1次会で帰宅する人が多く、深夜の利用客が減っている。売上は前年比15～20%減少している。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きも良くないが、夜の10時以降の動きが特に悪く、前年比で15%減少している。
観光名所（職員）	販売量の動き	・新規の販売低迷に加えて別荘を手放す人が増加している。
ゴルフ練習場（経営者）	単価の動き	・生活必需品以外の商品の単価が減少している。
美容室（経営者）	それ以外	・卒業シーズンなのに、前年に比べて、はかまの着付け等が少なくなっている。
美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は増えない。例年、卒業式、結婚式などの行事で3月は売上増加と予想しているのだが、今年は客数も売上も減少している。着物を着て卒業式に出る人の着付けの売上が全くない。他店では、2割ほど売上が減少している。当店では前年比で約13%減少している。
設計事務所（所長）	来客数の動き	・今月になってから全く物件情報が無い。全く無いということで、今後の悪化を感じさせる。
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・相変わらず家賃の値下げ交渉及び退去等がまだまだ進んでいる。最近では賃貸住宅まで家賃の値下げが波及してきた。家賃が安いのが当たり前という状況下で、大家、当方共に非常に困惑している。

企業動向関連	良く なっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・昨年11～1月からの受注生産のため、今月と来月は大変忙しい。
	やや良く なっている	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・多くの得意先が工場の稼働日数を減らしており、当社の生産量も前年比5割以上の減少ではあるが、韓国向け自動車部品の突然の増産や新規案件の問い合わせもあり、かすかではあるが明るい兆しがある。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・新生活関連の家電、インテリア等の物量は、例年並みに輸送を確保している。一時、荷動きが良くなっている。
	変わらない	プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3月になってから受注量の下降が止まってきており、少しずつ上がる傾向にある。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	取引先の様子	・特注受注はいくらかあるが、店頭販売品動向が思わしくない。
		金属製品製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先の仕事が少なく、取引先が休んでいるのでとても大変である。
		不動産業(営業担当)	取引先の様子	・事業所の休みが多くなっている。ビジネスホテルもやっているが、宿泊の稼働が上がらない。
	やや悪く なっている	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・落ち込んだまま継続している。年度末で一段と調整され、仕事が全くない。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・受注量、販売量が良い会社もあるが、悪い会社の方が多い。
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・住宅ローン、消費者ローン等個人向け融資の需要も減少していることから、買い控えが考えられる。
新聞販売店[広告](総務担当)		それ以外	・今年は昇給がなく、週休3～4日といった企業があるなか、サラリーマンのローン返済が残業を前提に組んでおり、ここにきて住宅を処分する事例が出始めている。今月のチラシ出稿量は88.3%、新聞広告は60%台である。チラシの出稿枚数はほとんど変化が無いが、サイズの小型化が顕著に出てきている。	
司法書士		受注量や販売量の動き	・3月は2月と比べると良いが、それ以前と比べると着実に落ち込んでいる。	
経営コンサルタント		取引先の様子	・今年に入ってから最近までの業況を聞くと、年末ごろの落ち込んだ状態のまま、または受注、販売が止まって低迷したままというところが多い。最近も金属加工の下請企業が廃業し、中小企業全般に借り換えや短期融資の借り換え、売上回復までの小規模の新規融資等を求める声依然在として多い。	
悪く なっている	食料品製造業(製造担当)	受注量や販売量の動き	・受注量が10%ほど減少し、身の回りでは、3勤4休という会社があり、食料品も買い控えでより安くなりつつある。	
	食料品製造業(営業統括)	受注量や販売量の動き	・取材等で取り上げられている一部メーカーでは好調に推移しているが、全体的に低調な水準にある。	
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車が出始めたが、他の設備関係の仕事が、4月以降全く先が見えない。非常にダメージがあり、このままでは危ない。	
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・景気の急激な落ち込みから、当社客先の商品も売行きが悪く、受注が下降を続けている。	
	輸送用機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量については3か月前と比べても大幅に減少しており、3月が前年比42～43%と非常に厳しい状況になっている。そういう部分ではこれが底かなという感じがするが、まだまだである。資金面でも大変な状況になっている。	
	その他製造業[宝石・貴金属](経営者)	受注量や販売量の動き	・宝飾品の売上が極端に減少している。売上は前年比50%に近い。ほとんどの店舗で仕入をストップしている。店頭で売れないので新しいデザインを見せても買うどころか借りることさえ出来ない。今後ますます厳しくなる。	
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・指名競争入札に参加しても相変わらず同札でのくじ引きが続いている。3月は1件の受注が出来たが、これも運頼みである。また受注物件は設計価格より20%引きであり利益の計上が見込めない。	
	通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は依然苦戦状態であり、客の財布のひもは固い。	

		金融業（総務担当）	取引先の様子	・取引先では、21年度の入札で今年度の金額よりも大幅に安い金額で他社に落札されてしまうケースがいくつかあり、仕事が減っている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末が近づくとつれて、販促費を抑えるのは例年と変わらないが、抑え方が尋常ではない。印刷、広告会社は大幅な売上減少である。
		社会保険労務士	取引先の様子	・後継者がいない事業所などは、今回の不況で廃業を決断するところも出ている。
		その他サービス [情報サービス]（経営者）	取引先の様子	・客の生産量、出荷量、販売高が減少しており、収益の悪化が進んでいる。それに伴い、設備投資、情報化投資の延期、中止が多くなっている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない			
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・製造業関係は電機、電子、住宅関連、車両等も含めて求職者数が徐々に増えてきているように見受けられるが、12、1月あたりでの解雇といった状況もうかがえる。サービス、飲食関係については募集が目立っている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・製造業関係の企業からの求人は、依然としてほとんどなく、生産調整のため週休3～4日の企業も多い。求人誌の募集広告も極端に少ない。募集されている業種は医療関係が目立つ。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・2月の新規求職者数は前年比17%の増加である。増加幅は小さくなってきているが、依然として増加傾向が続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業を中心にリストラによる正社員解雇、派遣社員の契約解除等が進行して、かつて無い有効求人倍率となっている。
		学校 [専門学校]（副校長）	求職者数の動き	・この時期、毎年欠員に伴う新規採用求人が出てきているが、本年度はほとんどない。
	悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・3月末の契約終了は予想以上に多い。輸出関連を中心に、その不振が地域に連鎖的に広がりつつある。一向に底が見えない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・求人の掲載件数は、当社が28年やってきたなかで、過去最悪の状況である。特に、派遣は他社の求人誌を見てもほとんどゼロに等しく、今のところ募集広告が伸びる気配がない。
		新聞社 [求人広告]（担当者）	周辺企業の様子	・自動車関連の企業では、週休3、4日というところやラインを1週間止めるところもある。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は前年比39.5%の大幅な増加となっている。これに伴い有効求職者数も39.8%の大幅な増加となっている。ほとんどが会社都合による解雇や契約の打ち切りといった非自発的な離職である。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・仕事が減少し、休業をしているため、雇用調整助成金の申請が増加している。また、求人数が前年比で60%減になり、新規求人倍率がここ数年ぶりに1倍を下回っている。	